



### 京町家を再生

西村孝平(京都府)

新しいネーミングにより、不動産コンサル業を広く認知していただくことが大事だ。宅建業界の人たちも収益になる業務と違っていいところがある。これを機にコンサルで収益が広がらない原因だと思う。

あげられる事例を近代化センターで広報していただきたい

い。現在は京町家の有効活用として収益の計画・プランニング・改修施工・斡旋をしている。京都の町家の一棟貸宿泊施設「京宿家」・リノベーションした貸家「京貸家」・シェアハウス「京だんらん」などがメインだ。

京都には今4万8000戸の京町家があるが、毎年2%が解体されている。新たな収益物件として提案することで保全・再生ができればと思っている。(にしむら・こつへい(株)八清代表取締役)